

# ふくしまファンクラブ

会報

Vol.17

平成 23 年（2011 年）6 月 30 日発行

## ふるさとの復興に向けて



俳優の西田敏行さん、エッセイストの安藤和津さんと県産野菜の安全性をアピールする佐藤福島県知事



東日本大震災では、福島県は甚大な被害を受けました。この大災害から、「ふるさとふくしま」の復興に奮闘されている、佐藤雄平福島県知事にお話をうかがいました。

### 福島県を襲った四重の被害

3月11日、福島県は、最大震度6強の大地震と千年に一度とよばれる大津波に襲われました。浜通りを中心に多くの尊い命や生活の場、働き場が一瞬にして失われました。

また、東京電力福島第一原子力発電所では事故が発生、住民十数万人が避難を余儀なくされました。

原発事故は、その後、ホテルや旅館での宿泊予約のキャンセルや県産品の取引中止など、風評被害を引き起こしました。

まさに、地震、津波、原



ニッコウキスゲが咲く尾瀬湿原

発事故、風評という四重の災害に見舞われたのです。

### ふくしまファンの強い「絆」

このような状況の中、全国から、避難者の受け入れや救済物資の提供、職員の派遣、義援金、ボランティア活動、県産品の購入など、たくさん温かいご支援、ご協力をいただいております。

私は全国のふくしまファンの皆さんとの強い「つながり」や「絆」に感謝しております。

皆さんのご厚意に、深く感謝申し上げます。

### 「ふくしまの再生」に向けて

「売られているものは安全です。」を合い言葉に、これからも、本県の産品を安心して求めていただくため、徹底したモニタリング調査を実施し、早く、正しく、わかりやすく情報提供します。

また、福島県の農産物の応援店は、県内外で一千店を超え、新鮮でおいしい福島県の野菜や果物が皆さんの身近で求められるようになりました。全国に向けて、農産物や特産品、観光などを発進するため、全県をあげて「がんばろう、ふくしま！」運動に取り組みます。

さらに、福島県の再生に向け「復興ビジョン」の策定にも着手しました。「ふるさとふくしま」を取り戻すため、全力で取り組んでいきます。

全国のふくしまファンの皆さん、これからもご支援をお願いいたします。

# まけない! ふくしま!

## 浪江町 浪江町商工会青年部

地震、津波、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故と、大きな被害を受けた浜通り浪江町。町の人々は現在避難を続けていますが、50年前から町の人に親しまれてきた「なみえ焼そば」を通じて町の復興に力を尽くしている人たちがいます。今回は商工会青年部が中心となり組織する「浪江焼麺太国」の太王こと、八島貞之さんと高橋正也さんにお話をうかがってきました。



2010年B-1グランプリin厚木にて

### インタビューを終えて

現在避難生活を送っているお二人。多分辛いことも多いと思いますが、笑顔でインタビューに答えてくださいました。「なみえ焼そば」は、町の皆さんが帰る時にはきつとA級の観光資源になって凱旋するものと確信しています。皆様も、「なみえ焼そば」を味わって、浪江町の方々の元気を感じていただければ幸いです。

### ◆「なみえ焼そば」を通して伝えたいもの

残念ながら、テレビなどを通じて伝わる浪江町や福島県は、とても恐ろしいところに映ることもあるようです。しかし、浪江町の人たちは復興に向けて元気にがんばっています。そして多くの福島県人は普通に生活を送っています。積極的にイベントに出展したり、取材に応じたりしていますが、イベントやメディアでの露出を通じて、こういった真実の姿をみんなに伝えたいし、知って欲しいというのが私たちの願いです。

### ◆「なみえ焼そば」を通じた町の復興

震災後、消防団員の仲間は捜索活動に、別の仲間は原発での作業にと復興に向けて活動している中、自分たちにできることはないかと考えるようになりました。地震直前、次のB-1グランプリでは必ず入賞しよう!という決意を新たにしていたところだったので、この「なみえ焼そば」を通して町の復興に寄与しようということになりました。正直、当初は「焼そばなんてやっている場合か」なんて言われたりもしましたが、今では家族も、町の人たちも応援してくれています。

### ◆町のシンボリック存在へ

避難するときは皆バラバラだったのですが、イベントを通じて、同窓会のように集まって、励まし合ったり、焼そばの味を懐かしがったりしています。皆一人でいたりすると、不安になったりすると思います。でも目的をもって集まれば、力が湧いてきたりします。そういった意味でも、「なみえ焼そば」は町の人々にとってシンボリックな存在になってきていると思います。



八島さん(右)と高橋さん(左)



正装した八島さん(太王)



※「なみえ焼そば」出展予定：H23.9.17～18 2011北海道・東北B-1グランプリin青森、H23.11.12～13 第6回B級ご当地グルメの祭典! B-1グランプリin姫路  
※浪江焼麺太国公式ブログ (<http://ameblo.jp/namie-yakisoba/>) もご覧ください。

太麺、こってりソースが特徴の「なみえ焼そば」

# 雪ニモマケズ風評ニモマケズ

## 昭和村

## NPO 法人芋麻倶楽部

地震や原子力発電所の事故の影響が比較的少なかった奥会津地方。しかし、この地域にも風評などの影響が及んでいます。そんな中、「フクシマ」の素晴らしさを日本だけでなく、世界の人に伝えようとしている人たちがいます。

今回は元気に「フクシマ」の魅力を伝えている、昭和村のNPO 法人芋麻倶楽部の皆さんにお話をうかがってきました。

### ◆のどかな村にも

風景を見る限り、のどかで何もなかったかのような感じですが、やはり農作物など風評被害が出ています。NPO で取り組んでいる農業体験への参加者も減ってしまったのですが、最近少しずつ戻ってきました。ちよつと意外ですが、アメリカなど外国人の参加者が多くなっています。

### ◆以前より積極的に展開

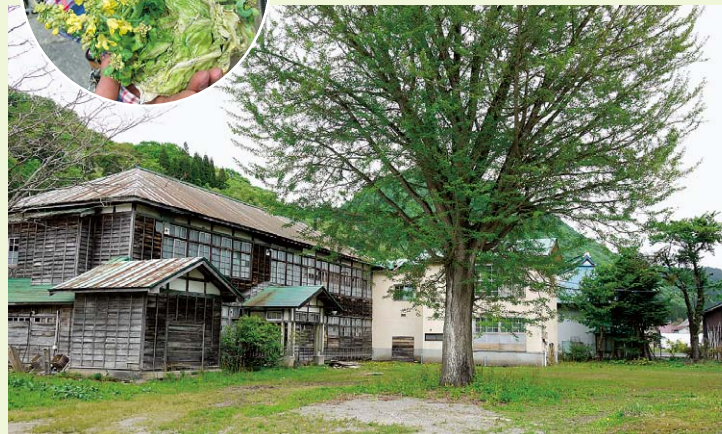
大変な時期にはありますが、NPO 法人芋麻倶楽部ではこれまでより積極的に交流事業を展開しています。村の生活を絵本にして多くの人に伝える事



左から小阪さん、尾崎さん（事務局長）、平久保さん、齋藤さん、栗城さん、時田さん。



かわいらしいキャベツの花。



村の中にある廃校の風景。タイムスリップしたかのような錯覚にとらわれます。

業（担当・平久保）、農業体験を通して村の生活や文化になじんでもらう「コミュニティ・ファーマー」事業（担当・小阪）、一度体験に来た人が繰り返し村を訪問し村の人と交流できるようにするための「ゲストハウス」事業（担当・時田）、古民家を使った「アトリエ・カフェ」事業（担当・齋藤）、主



齋藤さん独特の絵と文字。すごく味があります。

### ◆会津の責務

に県内の大学に、昭和村での滞在を授業カリキュラムに加えていただきながら、村の自然や知恵のすばらしさを伝える「ムラ・キャンパス」（担当・栗城）などそれぞれ担当の特技などを活かしながら進めています。

福島県は残念ながら原発事故で有名な「フクシマ」として全世界に知られるようになりました。しかしその今だからこそ、素晴らしい自然があること、そして自然との共生が連鎖と受け継がれている優れた地域で



村の名人が作った編み込み細工によるバッグ。もちろん材料も含めて Made in 昭和村です。

あることを伝えなければなりません。そうしなければネガティブな「フクシマ」が定着してしまいます。県内でも比較的元氣な会津が中心となつて、この素晴らしい世界に伝えなければなりません。特に奥会津は古来、飢饉や豪雪など数多の困難を克服してきた地域です。今、そういった自覚を持つて取り組んでいます。

### インタビュを終えて

忙しい中、皆インタビュのため集まってくれました。ほとんど他地域から移住してきた若者ですが、一層地域の魅力に敏感であり、熱い思いを語ってくれました。こういった若者もいる限り、福島県は絶対にくじけません。皆様も、体験メニュー参加などを通じてぜひ応援ください！

# たくさんのご支援ありがとうございます

東日本大震災と原発事故に伴う風評被害で福島県は深刻な状況にあります。安全性の確認された農産物等を広くPRし福島県のイメージアップを図るイベントが全国各地で開催されております。福島県八重洲観光交流館では、「がんばろう！ふくしまフェア」が開催され、たくさんの方々にお越しいただきました。さらに「お客様に感謝を込めた10日間」と名付けて、7月9日（土）から18日（月）までの間、福島県の特産品やお得な福（島）袋（数量限定）の販売を行います。また、ふくしま市場では、「東北大震災に負けるな！フェア」が開催され、蓮舫大臣も金子恵美議員（伊達市出身）と訪れたいへんご満悦でした。引き続きたくさんのご来場をお待ちしております。

## 福島県八重洲観光交流館



「がんばろう！ふくしまフェア」の様子

〒104-0028  
東京都中央区八重洲 2-6-21 三徳八重洲ビル 1F  
〈JR 東京駅八重洲南口より徒歩約3分〉  
TEL 03-3275-0855  
【営業時間】 10:00 ~ 19:00  
<http://www.tif.ne.jp/jp/sp/yaesu/>

## ふくしま市場



「東北大震災に負けるな！フェア」の様子

〒134-0084 東京都江戸川区東葛西 9-3-3  
イトーヨーカドー葛西店 1F  
〈東京メトロ東西線葛西駅より無料買い物バス約8分〉  
TEL 03-5659-2762  
【営業時間】 10:00 ~ 21:00  
<http://www.tif.ne.jp/bussan/fukushima/>



## 缶バッチを着けて絆をひとつに!

福島県職員をはじめ多くの方々が、「がんばろうふくしま」缶バッチを着けて復興に取り組んでいます。この缶バッチは、福島県八重洲観光交流館や福島県庁消費組合地階売店にて購入することができます。（1個200円）

## 編集後記

あの大地震から4カ月を迎えようとしています。これまでファンクラブの会員はじめ全国の方からたくさんのお応援や励ましのメッセージをいただきました。今、ふくしまは力を合わせてがんばっています。時間がかかるかもしれませんが引き続き温かい応援をよろしくお願いします。がんばっぺふくしま！

## 福島を訪れる方へ

東京電力の原発事故による環境放射能測定値については、福島県災害対策本部のホームページ（<http://www.pref.fukushima.jp/j/>）で確認することができます。